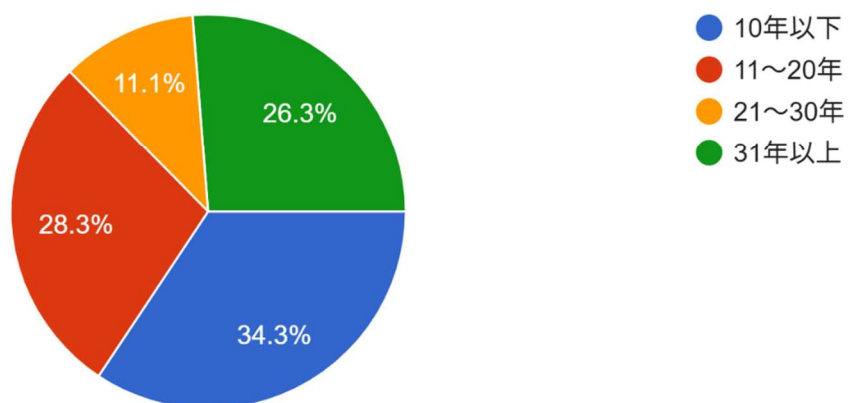


第68回 石川県公立小中学校事務研究大会アンケート より

回答総数：97件

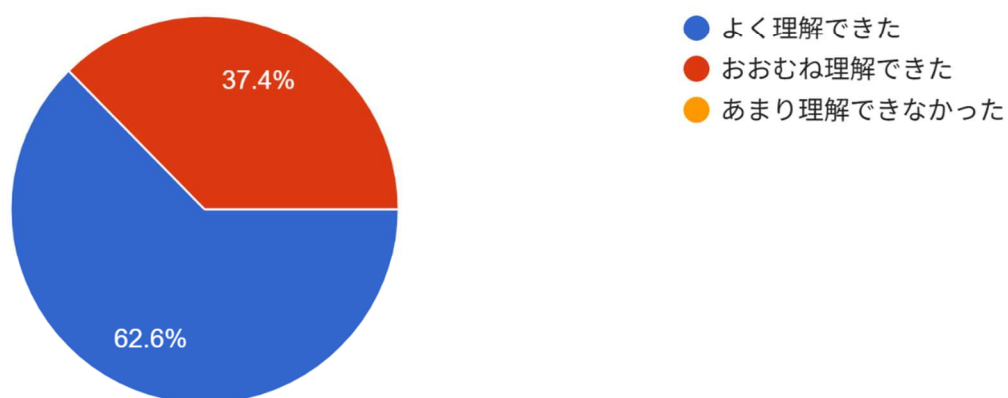
ご自身の経験年数について、お聞かせください

99件の回答



県教委行政説明について、内容はいかがでしたか？

99件の回答

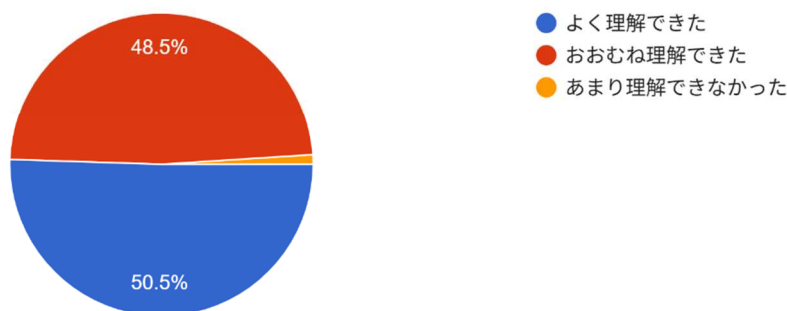


県教委行政説明について、ご意見やご感想があればお聞かせください

説明について	● これからの時代の学校教育について、県がどのような取組みを行っているのかよく理解できました。子どもたち一人ひとりの資質能力向上のためにチーム学校の一員として深く関わりたいと思った。 ● 第4期教育振興基本計画や、「学力向上」として求められている内容を非常にわかりやすく説明していただき、「校内研修で話し合われていたのはこういうことだったんだ!」と納得しました。研究に絡めて予算的な相談をされることもあるので、本日学んだことも頭に置きながら、より良い方向に進めるよう支えていきたいと思います。 ● 県外からの参加でしたが、石川県が教育において何を重要視しているのかを授業の実践風を交えつつお話いただけたためとても分かりやすかったです。 ● 県での学力についての認識と、市町の学力についての認識に差があるように感じました。 ● 学力向上のため、教員のみなさんが一生懸命取り組んでいることを他人事のように捉える時が多いのですが、事務職として関わることも大事だと思いました。 ● 令和の時代は、教育現場を取り巻く環境も昭和及び平成時代と比較し大幅に変化しており、特別支援学級及び通級の児童生徒数の増加、共働き保護者数の増加に加え、叱らず褒めて伸ばす教育、ICT活用推進等、教員の負担は減るよりも増えるような状況となっているように感じられる。その中で、単一的な学力だけではなく、社会で生き抜いていくための総合力を身に付けさせる教育が必要となるため、学校教育は一層困難となることが予想される。 学校教育の質を高めるには、教員の負担減が必要であり、児童生徒指導以外の教員が担う業務の一部を外注化することも検討が必要と考えます。 ● 今年の7月に文部科学省の行政説明を聞く機会があり、今回、石川県教育委員会の行政説明でも文部科学省の流れに沿ったお話を聞けましたので、より理解が深まりました。新学習指導要領が完全実施されると、これまでの「点数学力重視」の学校教育のイメージを変えなければならないように思います。 ● 資質・能力の育成が新しい時代に必要なのは、子どもも大人（教職員）も同じだなと考えさせられました。考察（興味関心）・課題解決・表現力（対話）など、自分もつけていきたいと思いました。 ● 40人のクラスがあれば様々な考えの子どもがいる、1人1人の考えに焦点を当てるというのはとても素敵なことだと思いました。私も事務職だからと子供と距離を置くのではなく、積極的に1人1人に目を向けてみようと思います。 ● 「学力」について、自分の認識が大きく間違っていたことがわかった。県が目指している学力の向上について、理解を深めることができ、事務職員として何ができるか改めて考える機会となった。
--------	--

地区研究発表「金沢小」について、内容はいかがでしたか？

99 件の回答

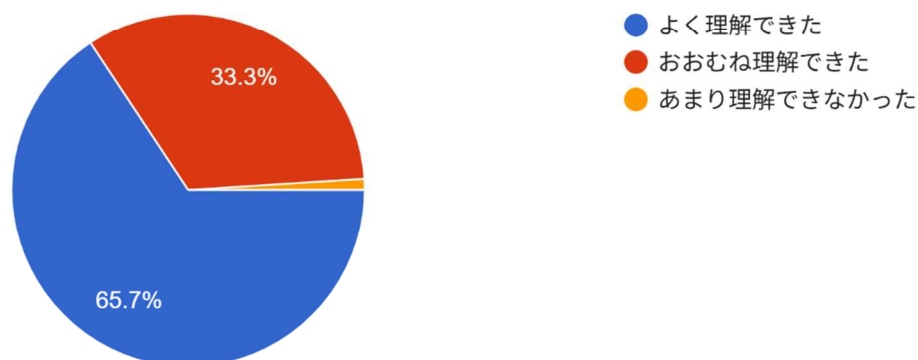


地区研究発表「金沢小」について、ご意見やご感想があればお聞かせください

感想	● 共同実施で学校を空けることは、定着してくればそれほど問題ではなくなります。事務研と混同しないよう、教職員や子供のために還元できる共同実施になることが大切だと思います。 ● 共同実施から、共同学校事務室へと向かって、組織の土台もしっかりと作られ、教育委員会とも連携して進めておられるのが素晴らしいと思いました。共同学校事務室を行うための必要な事項を知ること出来ました。 ● 事務研以外に共同実施という取組を行っていて感動しました。ただ、幹事ではないですが、事務研でも役があり、別の共同実施の会でも役があると事務職員の負担は更に増大しないのかなと思いました。 ● 1人職である事務員にとって日頃の困り感や不安感を解消するだけでも共同で進める意義があり、大切なことだと思います。加賀地区も仮想として行っていますが、進め方や活動内容などとても勉強になりました。 ● 共同実施として学校全体の業務改善に取り組めた事例がこれからも出てきた際は、ぜひ積極的に広報してほしい。 ● 共同実施についての小学校での各グループでの研究であるが、今後どのように中学校との連携されるのでしょうか？せっかく見えてきた成果、課題をどうやって共同実施に活かしていくのか気になります。 ● 学校数が多いので校区によるバラツキがあることがわかりました。教委主導で共同学校事務室を推進してもらえたら良いのと思いました。 ● 勤務地区では、共同実施の動きがない現状。ただ、いつ実施の流れになっても対応できるよう地区研究会でも考察必要であると感じた。
要望	● 質疑の時間が取れない場合のために、羽咋地区のようなQRコード様式があったらよかったと思いました。 ● 中学校との連携部分をもう少し詳しく聞けたら良かったと思います。

地区研究発表「羽咋」について、内容はいかがでしたか？

99 件の回答



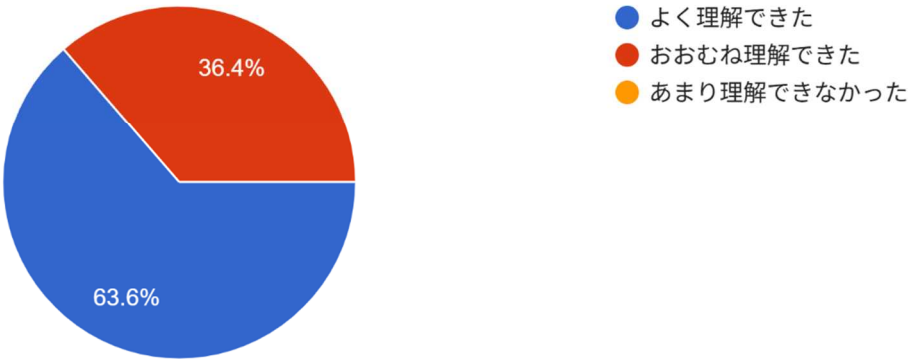
地区研究発表「羽咋」について、ご意見やご感想があればお聞かせください

感想	● 各都市小規模ながらもわかりやすくまとめられていて、プレゼンも見やすかったです。参考にしたい点も多くありました。特に災害の未来への備え、早く取り掛かりたいです。 ● 宝達志水町の統合に関する報告について、これから統合を控えているため興味深く聞かせていただきました。寄贈品の一覧は全く頭になかったため、このようにするとわかりやすいのだと思いました。参考に（真似？）させていただきます。 ● ICTの研修を自分たちで行ったり、事務職員同士が協力し合える体制を作られたりして、全員でスキルの向上をしようとしておられるのが素晴らしいです。見習います。 ● 統廃合や地震を始めとした具体的な取り組みや現状を知ることは貴重な機会でした。すぐに取り組みできることもあり自校に反映させたいです。 ● 特に宝達志水町の学校統廃合の進め方は学びが多くありました。私の所属校も小規模校のため不安を感じていましたが、備品の整理や移管法など具体的な内容を知りイメージできたので良かったです。 ● 宝達志水の発表が1番今後大事になるテーマな気がしました。町と共同で備品システムの改良や統合後の学校運営もスムーズにできるシステムづくりにとても勉強になりました。 ● 事務職員も、学校全体がICTやAI活用が広まる中で、授業での活用について理解し、業務改善にも活用できる力を身に着ける必要があると感じています。 文書収受体制について、特に業務量的に負担が大きい仕事だと思います。ペーパーレス化も含めて、ICTやAIを活用してメール処理の効率化など、業務改善できないかと検討しています。私も受付簿の存在意義は薄れていると感じます。必要な文書が担当者に届く、いつでも確認できることを主目的としたペーパーレス化した文書収受体制を目指したいと思いました。
----	--

全体研修「講演会」について、内容はいかかでしたか？

全体研修「講演会」について、内容はいかかでしたか？

99 件の回答



①住田先生の講演会を聞いて心に残ったこと、気づきがありましたらお答えください

感想	● この4月に異動して、ごきげんでいることや、先生方との対話を遠慮していました。今回、明確にごきげんや対話の大切さを教えていただいたので、明日からは遠慮せずにやってみようと思います。 ● 学校には様々な職種の人が集まっており、互いを十分に理解するのは難しいが、理解しようと対話することが大切だと感じた。二択ワークも自分の傾向を知ることができてよかった。 ● 「学校マネジメント」と聞くと難しい印象があったが、先生の最後のお言葉「学校に関わる全ての人を幸せにする仕事」「#ハッピー・クリエイター！」を聞いて、ほんの少しだけハードルが下がったような気がしました。個（先生方）の強みを活かすためには個（先生方）のことを知らないといけません。今年、赴任したばかりの職場なのでまずはそこから始めないと！と思いました。 ● マネジメントは小さなことからできるとわかった。 ● マネジメントとは決して特別なことをするのではなく、自分たちが日常の中でおこなっている職務をどう捉え、どのようにつないでいくか、ということなのではないかと感じました。 ● 2択のアンケートが面白かったです。まずは自分のクセを知り、どのように学校マネジメントに参画していけば良いか、ヒントをいただきました。 ● 事務職員へのエールとなる講演会で、嬉しく思いました。素敵な実践を教えて頂いて、よかったと思いました。 ● “まずは、ありがとうの一言！ ● 気持ちが変わるこの言葉、周りも変える言葉、出し惜しみせずに言いたいと思いました。
----	--

- 学校現場では学校事務は脇役的な立ち位置という意識でしたが、資源を使い動作することで学校が変われるということから主体的に学校運営に携わる方法を学びました。
- 経験年数が経つと自分の感覚や流れで仕事をしていることが多くなりますが、対話(傾聴)を大切にして学校のエンジンになれるよう精進しようと思いました。
- 感謝を積極的に伝えることはとても大切だと思いました。職員室の雰囲気は業務に少なからず影響があると私自身も感じるので少しでも力になればと思います。
- 正解のない二択ワークをして、自分も結構教員のことを考えて業務しているんだな一と思えて自信が持てました！ありがとうございました！”
- 白い丸テーブルといワードは以前別の方の講演でも出てきました。人間関係の円滑の象徴でもあり、大切なツールでもあるのかなとおもいました。学校運営は人が動いて成り立つもので、人と人との繋がりをまずは大切に育むべきなのだとおもいました。
- “学校マネジメントにおいて大切なことをわかりやすくお話いただきよかったです。
- 自分の判断のくせを知ること、教職員への歩み寄り方を工夫しながらマネジメントしていきたいです。”
- 「ありがとう」の言葉の持つ力について改めて考えさせられました。職場環境をよくするには自分から動くことが大事だと思いました。不機嫌ではなくごきげんの連鎖を目指したいと思います。
- マネジメントは難しい、とっつきにくいというイメージを変えていただけたと思います。自分を知ること、価値観はそれぞれに違うこと。当たり前だけれど、知らず知らずのうちに考えが固まってしまっていたなと思いました。
- 講演中に行った2択ワークの中で付近の事務職員と意見交換をした際、自分とは異なる選択をされた職員の意見を聞いて新しい考え方や実践方法などを聞くことができ、今後の業務の中に組み込んでいきたいと思えるものを見つけられました。
- 「聞くことの大切さ」と「強い肯定は否定になる」という言葉が印象的でした。
- 「事務をつかさどる」真の意味として、つかさどる＝リーダーシップであり、リーダーシップに必要な能力が自己認識力である、ということが心に残りました。2択式ワークも興味深く、セミナーで再度お話が聞けるとお聞きし、楽しみにしています。書籍も読んでみたいと思いました。
- 考え方の癖について、持っていた方がいいという意識はありましたが、じゃあどんな癖なのか、という自己分析ができていなかったんだなあと反省しました。
- 人間関係構築のためにお話をする時は「聞き」「問い」「引き出す」そして最後までしっかり聞き切ることが大切だというお言葉が心に残りました。事務職員として学校に関わる全ての方々に対しての接し方を今後考えて行きたいと思いました。「ご機嫌でいる」ことを意識して仕事をしたいと思います。
- 学校事務職員は学校マネジメントのエンジンという言葉が印象的だった。

- 正解のない二択ワークが印象に残りました。基本Aが多かったのですが、同時にBでもあったことがありました。学校における諸問題を解決するための糸口を探るには、いろんな意見に耳を傾け、それぞれの立場をお互いに理解するために「対話」が重要だと実感しました。
- 聴ききることについて自分はできていない時もあると気が付きました。マネジメントにおいて聴くことと受け入れることはとても大切だと感じました。
- 対話の重要性について、対話とは職務の枠あるいは役職等の上下関係等を取り払い、対等な話し合いであることが必要であり、結論を決める討論とは異なり、相手の意見を否定せずに考えを出し合うことであると理解した。
- 自己肯定感を高めてくださる素晴らしい講演でした。逆を言うと自分はできているのだろうかと自信が無くなりそうにもなりました。しかし、それだけ事務職員の学校における役割というのは多岐にわたり、事務職員によって学校は変わるんだ。ということを改めて思った。
- 事務職員がごきげんでいる学校は必ず良い学校になるという言葉が響きました。野々市市の共同学校事務室の目標に事務職員のエンゲージメントの向上を掲げていることは間違いではなかったと思いました。
- 「事務職員が変われば学校が変わる」は、自分自身も経験的に実感するものがあります。事務職員の影響の大きさにあらためてハッとさせられました。事務職員が考える業務一つ一つの基準や予算の使い方、アイディア次第で、学校運営の円滑さが左右される場面は多いと思います。
- 管理職と事務職員の関係が、良好であるかどうか非常に大切であると思います。また、住田先生が予算委員会の大切さを繰り返しお話しされていましたが、石川県では、ほとんどの学校に予算委員会が設置されていないので、実感の無い方が多かったのではないかと心配しています。
- マネジメントというと統括というイメージでしたが、人を活かすというキーワードを聞き、財務マネジメントの観点から何か出来ないか模索していきたいと思いました。
- 困りごとを話しやすい事務職員であることを常日頃意識しています。日頃からの小さな実践の積み重ねが、大きな取組みの成功にもつながると思います。事務職員の視点から学校全体を見て、課題解決を通して教育の質向上に貢献していきたいと思います。
- リーダーシップを取るには自己認識力が必要であり、自分を知ることからスタートすることが必要だと分かった。
- 正解のない二択、一方は自分になかった視点、そのことに気づかされました
- 学校をマネジメントするというが、二択ワークにあるように、その時の現状において、判断が左右される。ただ、選択したことが、学校にとって、また、職員間にとって、間違っていなかった方向であって欲しい。そのためには、自分のクセを理解することで、自分自身で管理し、よりよい学校運営への参画へと繋げていきたい。

	● 今回の講演を通して、学校マネジメントの本質は、一人一人の強みを活かし、権限を委譲しながら主体性を育てることだと学びました。相手の話を最後まで聞き、よさを引き出すことは、自分にも実践できる大切な関わり方だと感じました。 ● リーダーシップには自己理解力が重要であり、自分の価値観を押し付けず、相手の考え方やその人らしさを尊重することが必要だと学びました。さらに、やりたいことを先に実行することや、感謝を言葉で伝えることも意識し、よりよい職場づくりにつなげていきたいと思います。” ● リーダーシップに必要な最大の能力は「自己認識力」というお話がとても印象的でした。人心掌握力等をイメージしていたのですが、確かに自分の強みや弱み、価値観を知らないとブレない心は保てないと思いました。教員とは違った目線で俯瞰して組織を見られるように意識していきたいです。
--	--

②今後自校で取りくみたいことをお答えください

感想	● ごきげんでいること、先生方と対話すること。 ● 日頃から対話を通して学校に必要な備品や修繕箇所を把握していきたい。 ● 気軽に話せる関係性を築いていくために、挨拶から始める。 ● 教員や他職の方とどんどん話をする機会を増やして、アンテナ高くしたいと思います。財務面では保護者にも寄り添いたいと思っています。 ● ICTを活用した業務の効率化が、特に即効性があると思うので、全事務職員に意識してもらえるように広げていきたい。 ● 話を聞くということを大事にすると好循環が生まれるということだったのですぐに取り組みしたい ● 正解のない二択を活用して、職員との対話を深めたいと考えています。 ● まずは人の話をじっくり聞く、事務室を安心する空間にすることを目指します。 ● 働きやすい雰囲気作り ● 教員と積極的にコミュニケーションをとり、共通理解をはかる ● 備品システムの見直しをしてみたいです。 ● ごきげんな事務職員になれるよう心がけたいです。 ● 事務職員は潤滑油、という言葉の通り、挨拶や感謝を今以上にして気持ちの良い職場の雰囲気を作りたい ● 不機嫌は表に出さず、1日10回は「ありがとう」を発したいと思います。 ● 『聴き』『問い』『引き出す』、人の強みを発揮させる ● 互いを認め合える環境づくりから、感謝の気持ち、リスペクトを忘れずに。
----	---

- 教職員をはじめとした学校に携わる職員とのコミュニケーションをより密にとりたいです。
- 忙しい日々の中で難しいかもしれませんが、職員だけでなく、児童の言葉も「聞くこと」に重きをおいていきたいです。
- 事務職員の存在が職場環境を左右すると改めて気づかされたので、できるだけ日々機嫌よく仕事ができるように努めたいと思います。
- 今後も管理職と教員、前期課程と後期課程の意思疎通がスムーズにいくように、対話を通してつなげたい
- 居心地の良い職員室は、心がけたいと思っていたことなので、講演内容をヒントに笑顔から始めようと思います。
- 日頃のコミュニケーションを改めて大切にしようと思いました。
- 対話で物事を決めないことを取り組みたいです。意見を出すことと物事を決めることの住み分けをすることがよりよい対話のコツだと分かりました。
- 感謝の気持ちを忘れず、いろんな職員や児童保護者と接していきたいと再度思いました。
- 教員の話聞く、教員の力を信じて任せる領域を増やしていきたいです。
- 2択クイズ職場でもしてみようと思った。管理職の仕事への取り組み方を教えてもらおうと思う。
- 現在よりも積極的な対話を行うこと。
- 時間がある限り、傾聴し先生方の意見を取り入れていきたいです
- 情報発信したい
- 「ごきげん」で話しやすい雰囲気を作ることを意識しようと思います。
- 教職員の話をよく聴き、学校全体をみわたり事務職員の立場で問い、最大限の力を発揮しマネジメントに参画しようと思いますら。
- 会話ではなく対話を意識した職員間のコミュニケーション
- まず自己認識力を高める取り組みを進めたい。
- 当面は、能登半島地震災害復旧の校舎増改築と、その後の移転作業があります。また、廃校になる別校舎からの物品移動があるので、それに組み入ります。
- 授業・校務でのICTやAI活用の支援・提案、事業計画に関連づいた予算の見える化
- 事務職員の強み、自分の強みを考えながら、仕事につとめたい
- 震災をきっかけに、これまでの常識を変えて仕事をしていかなければならないなと思いました。まずは購入から。
- 予算執行の見える化。
- 実践事例をデータベース化している取り組みを真似たいと思いました。
- 日々のコミュニケーションを大事にして、学校の中の課題や要望を汲み取っていききたいです。

その他全体を通して、ご意見やご感想があればお聞かせください

感想	● グループ討議で石川の若い方とお話しでき、嬉しかったです。みなさん悩みは同じですが、ポジティブにがんばりましょう！ ● どれも勉強になる話ばかりでした。貴重な時間をありがとうございました。 ● 少人数ながら運営がスムーズでよかった。ありがとうございました。 ● タイトな日程の中、準備や運営にあたってくださった役員はじめ係のみなさまには頭が下がります。自分たちが楽しみながら学んでいける機会を保障していただき、ありがとうございます。 ● 石川県の皆さんがこのような研究大会や研修の場を年に複数回設けておられ、運営される方々と参加される方々のそれぞれが、熱心に学びの場として臨んでおられる姿が素晴らしいと思いました。毎回たくさんの学びをいただき感謝しています。 ● 初めて今大会に参加させていただきましたが、2地域の研究発表については私自身も感じていた困り感を同じく感じ、そしてそれに対してどう取り組んだのかまで理解でき、今後の業務に繋がる貴重なことを多く学べました。講演についても、少しの行動で改善されることが沢山ある、事務という立場として学校に貢献できることがあると気づけました。 ● 久しぶりの研究大会に参加して、とても勉強になりました。学校事務職員の必要性や、講演会の内容など、事務職員だけでなく、市町教育委員会や管理職にこそ知ってほしいと思う内容でした。自己研鑽していきたいと思えてとても有意義な時間でした。ありがとうございました。 ● 今年からの初任で初参加だったため、自分が理解できていないことがたくさんあることに改めて気づくことができました。違う地域の状況について知るよい機会になりました。 ● 運営に関してはとてもスムーズに運行されとても良い大会になったと思います。 ● 会員の参加率が知りたいなと思います。参加できない方の理由も差し支えない範囲でわかると、ニーズがわかるのかも？と思いました。（地区発表方法の参考にもしたいです） ● とても勉強になりました。吸収できるものが多い、有意義な時間でした。 ● 三重県から参加させていただきました。住田先生の講演を聞くことを目的に、参加をさせていただいたのですが、地区発表の内容がとても興味深く、参考になりました。（どの市町も興味深い内容だったのですが、とりわけ志賀町の発表は、三重県の事務職員に聞いてもらいたいと思う内容でした。）1日大会運営お疲れ様でした。
----	--

	● 研究大会はいつも気持ちを新たにさせてもらえるし、勉強になります。ありがとうございます。
意見	● 各地区発表については、大会アンケート内に質問事項の欄を設けて、質問のある方はそちらから入力して、後日研究収録での回答としたらどうか。質疑応答の数が読めずにタイムマネジメントが難しい。 ● 参加者には17:00完全撤収する旨をアナウンスして質問・感想などは今後どの地区も羽咋のように後から募る方式にしてはどうか？（それか質問・感想をその場で聞いて質問に関しては『後日、研究集録等に掲載する』など。 ● 今後も分科会発表持ち時間60分以内を厳守いただきたい。予定時間に遅れが生じた場合は、司会者（運営側）にて休憩時間等を分単位で詰めるなど閉会時間16時30分を超えないように配慮いただければ幸いです。 ● 大会開催ありがとうございます。個人的な感想ですが、地区研究発表が重く苦しいです・・・今回は他市の発表をお聞きしましたが、お互いに学び合う、現状の課題に合わせて実践を考えていくというよりも、いかに上手に発表するのか、に重きが置かれているように見えます。発表への質問について渦中の市に所属している者としては、質問の意図と背景を感じながら聞いていました。どこよりも良いものを目指すとか、前回の発表を越えるもの、越えなければならぬと地区の担当の方の認識もあり、地区の研究会への参加が苦しいです。分科会の持ち方や考え方については代表者委員会やその他の会等でも共有されている事項なのかもしれませんが、私だけかもしれませんが末端にいる者として地区研究会とは何かということがよくわかっていない部分も多くあります。県の事務研が地区研究会にどこまで介入するのか、いろんな課題や問題もあるかと思いますが、何のための研究か、地区研究会とはどのように進めるものなのかを教えていただけたら、考えや意見を共有し合う機会などがあればありがたいなと思いました。 ● 大変恐縮なのですが、閉会時間はできるだけ超えないようお願いします。移動時間が2時間以上かかる地区にとっては5分でも早く帰路につきたいのが本音です。朝もとても早い出発なので。運営が大変なのは重々承知ですが、よろしくお願いいたします。 ● 昔のように発表を分科会にし、選択研修を復活させてほしい。 ● できれば開催日は給料日ではないほうが良い ● 地区発表の質問の時間が足りなかったなので、発表自体はもう少し短くしてゆとりをもたせてほしいです。 ● 日程的に良いと思います。地区発表も1時間ほどが良いです。

会場についての要望	● 金沢は遠いので、一度七尾あたりで開催していただきたいです。 ● 駐車場に車を止める際にどこがいっぱいでどこが開いているのかが分かりにくく駐車場内が非常に混雑していたため誘導員等を配置するとよいと思います。
-----------	--